近畿農政局
〒650-0024
神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎 近畿農政局兵庫支局
TEL:078-331-5924　email:hyogo28_hsatt@kinki.maff.go.jp

2016
兵庫支局
Hyogo branch office

H-SATT

Vol.02

兵庫の魅力を発信！
みんなの兵庫をつなぎます

ご相談ください農政のこと！
兵庫支局は現場と共に

広報誌のタイトル「H-SATT」とは、兵庫県内の５つの国（H＝播磨、S＝摂津、A＝淡路、T・T＝但馬･丹波）として表し、一体となって発展することを目指してタイトルとしました。

Pick UP!!

日本農業遺産および世界農業遺産公募中！！

農林水産省は、我が国において将来に受け継がれるべき伝統的な農林水産業システムを広く発掘するため「日本農業遺産制度」を創設し、日本農業遺産への認定および世界農業遺産への認定申請に必要な農林水産省の承認を希望する地域を募集します。

公募期間：4月12日～9月30日

詳しくは、農林水産省ホームページをご覧下さい。
http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kantai/160412.html

近畿では、和歌山県の**「みなべ･田辺の梅システム」**が世界農業遺産に認定されています。（2015年認定）

飼料用米多収コンテストが開催されます！！

（一社）日本飼料用米振興協会及び農林水産省は、飼料用米生産農家の生産技術の向上を目指し、多収を実現している先進的で他の模範となる経営体を表彰し、その成果を広く紹介する「飼料用米多収日本一」を開催します。参加をご希望の方は、参加申込書を添えて、近畿農政局生産部生産振興課あて、6月30日までにお申し込み下さい。

ご応募お待ちしております。

兵庫支局経営所得安定対策チーム（TEL:078-331-9951）

丹波市の「株式会社丹波しのたろう」が６次産業化で計画認定されました

農林漁業の６次産業化は、一次産業（農林水産業）と二次産業（製造業）、三次産業（販売業等）の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、農林漁業者の所得の向上や農山漁村地域における雇用の確保、地域の活性化を目指すものです。

「株式会社丹波しのたろう」は、平成26年12月に設立し、少量多品目の野菜を原料に自社加工施設において加工し、販売を行っている事業者で、これまで商品として切干大根や乾燥野菜のおつまみ類を製造・販売してきました。取引先から健康志向の高い女性は安全・安心な商品を求めている、とのアドバイスを受け、新たな商品として、自社の大根を使用し、油・乳製品など動物性のものを使わず、砂糖と酢のみで味付け乾燥した「乾燥ピクルス（おつまみたくあん）」を開発し、新商品のイメージアップと商談会等への参加による更なる販路拡大のため認定を取得し、製造・販売しています。

「株式会社丹波しのたろう」の代表取締役篠島太氏は、今後、認定された総合化事業計画に基づき、原材料確保のため利用権設定等により、地域の休耕田を活用しながら大根の生産拡大を図り、加工食品の製造・販売量を増大させ雇用の創出と所得の向上を目指したいと話されています。

今回の認定により、兵庫県内では北海道に次ぎ、100事業者が大臣認定されました。農林水産省では、これらの取り組みに対し、支援していくこととしています。

「株式会社丹波しのたろう」
兵庫県丹波市氷上町三原364-2
ホームページ：http://shinotaro.com/
メール：info@shinotaro.com

平成28年産における需要に応じた生産の推進に関する会議が開催されました

平成28年４月27日、農林水産本省において各都道府県担当者等を招集し、平成28年産における需要に応じた生産の推進等について、会議を開催しました。

本省から、27年産米は、飼料用米、麦、大豆等の生産拡大により、平成16年以来初めて全体として生産数量目標を達成し、過剰作付けの解消が図られたことや、行政による生産数量目標の配分に頼らない需要に応じた生産を行っていくためには、27年産における取り組みが、28年産で後戻りすることのないよう、推進・定着を図っていくことが極めて重要であり、農林水産省においても「需要に応じた生産推進重点キャラバン」を引き続き実施し、生産現場の理解の促進を図るとともに、都道府県と十分連携し、30年産以降については、自主的取り組みを推進し、スムーズに移行する必要性がある等について説明がありました。

会議では、北海道、栃木県等とともに、兵庫県から30年産に向けた取組事例の発表があり、30年産以降の県産米の円滑な生産・流通に向けて取り組みを検討している旨の発表がされました。

新たな土地改良計画の策定に係る都道府県説明会が開催されました

農林水産省では、土地改良事業が計画的に実施されるよう、５年間の土地改良長期計画を立てて事業の目標等を定めていますが、農業・農村を取り巻く情勢が大きく変化していることから、計画期間を１年前倒しした新たな土地改良長期計画（平成28～32年度）の中間取りまとめが行われ、平成28年4月20日、都道府県への説明会を開催しました。

今後、食料･農業･農村対策審議会農業農村振興整備部会で審議し、閣議決定されます。

※新たな土地改良計画（中間取りまとめ）についての資料は、以下のホームページでご覧になれます。
http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/keityo/160415.html

粋♥意気 農業人

兵庫県内で活躍している農業男子！！、農業を愛する女子！！の活動を取り上げ、青年就農者や農業法人で活躍する若い皆さん、これから農業を志す皆さんのために「粋・意気 農業人」として紹介させていただきます。

地域を元気に！淡路のアグリプリンセス♡

黒田美福さん（淡路市小田）は、平成24年に就農され、才田農園を経営しており、主な栽培作目は、水稲、たまねぎ、レタス、ブロッコリー、ピーマンなどを中心に約2.5ha栽培、イベントやほ場視察の受入などもしています。

平成25年11月には、ひょうご女性未来会議が創設した、次世代を担う女性たちの活動を讃え、応援する「ひょうご女性未来･縹（はなだ）賞」を受賞され、また、女性で初めて淡路市農業青年クラブ会長に就任されました。

現在は、県下の若手女性農業経営者による「ひょうごアグリプリンセスの会」会長として活躍中の黒田さんに「粋♡意気 農業人」女子の一人目として、お話を伺いました。

大切な子供達が食べる野菜だからこそ、信念を持ち、土作りからこだわっています。土に漢方農業資材をすき込むことで野菜の根の張りが良くなり、養分をしっかり吸い込み元気な野菜が育ちます。虫も付きにくくなって、これが減農薬に繋がっています。野菜作りは、子育てと同じ。手を掛ければ応えてくれます。

作った野菜は、主に関西圏を中心に展開している直売所に才田農園名で販売しています。

地域に人が少なく寂しいことが気にかかり、何とかして地元にたくさんの人に来ていただき、活気を取り戻したいとも。

自分の作った野菜を提供し、気軽に話しが出来るスペース、お食事処の開店が、将来の夢だそうです。

都市近郊農業で大活躍！！

「粋♡意気 農業人」男子の一人目は、兵庫県青年農業士会会長で「株式会社 小池農園こめハウス」代表取締役の小池潤さん（神戸市西区櫨谷町）です。（下写真中央）

耕作面積は約40haで、水稲を始め、小麦、大豆、蕎麦、野菜、飼料作物等を作られ、特にお米は商標登録「神戸米」として真空パックでも販売されており、神戸市唯一の稲作経営での認定農業者さんです。

作業受託も大規模にされており、若手社員の育成にも熱心に取り組まれ、将来の独立に向けた手助けをされています。

また、今年は、稲発酵粗飼料（5月作付、7月収穫）の後に大豆を作付けるといった、新しい作型モデルも試されるなど、とても意欲的です。

最近では、神戸の農業や漁業を都会に住む人たちに知ってもらい、地元の新たな食を提案することを目的に、神戸の漁師さんたちと「Kobe Foo Style（コウベフー スタイル）」を立上げ、農家ツアーや農業体験等のイベントを開催されています。

神戸で作った農産物で、神戸の方のおなかを満たすことが出来ればと語っておられました。

～地域の話題～
兵庫県の農林水産物の魅力を発信！！

毎日が旬！地域のおいしいを召し上がれ。

JA兵庫南の農産物直売所「にじいろふぁ～みん」は、昨秋にレストランを併設した直売所として、稲美町に開設、明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町で穫れた農産物、畜産物、水産物など地域食材の魅力を発信しています。にじいろふぁ～みん所長の青木さん(左写真中央)からお話を伺いました。

現在の登録組合員は約500人。安心して食べていただくことができるように栽培記録も管理。
訪れる度に、季節を感じる色とりどりの野菜や花でお客様をお出迎えできるよう心がけています。
珍しい野菜の栽培にも力を入れており、随時登場する予定。切花や苗なども充実しています。
農産物の他、地元加古川和牛をはじめとした精肉、明石浦漁港に水揚げされた近海の地魚や旬の魚が並びます。
地元で収穫された大豆を原料に手作り豆腐も販売しており、濃厚な大豆の味が自慢です。
併設された「にじいろレストラン」では、ランチ（バイキング形式）が楽しめます。

レストランで使う野菜は、農家さんがにじいろふぁ～みんに毎日運び込む新鮮野菜が30~40品の料理に変身。
野菜中心のヘルシーなメニューでありながら、食べ応えがあり、野菜のおいしさに出会えます。
色んなスタイルで「にじいろレストラン」を楽しまれてはいかがでしょうかと、笑顔で話してくれました。

経営所得安定対策の交付申請手続きはお済みですか？

平成28年度経営所得安定対策等の交付申請手続きは、平成28年6月30日までとなっています。
手続きがお済みでない方で、各地域の農会等を通じて書類を受け取られた方の提出先等は、各農会長等へお尋ね下さい。
また、それ以外の方は地域農業再生協議会（お住まいの市町農政担当課、JA等）あて提出して下さい。手続きに関してご不明な点等は以下の問い合わせ先までご連絡下さい。

兵庫支局経営所得安定対策チーム（TEL:078-331-9951）

地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などがございましたら、お気軽に兵庫支局地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。（TEL：078-331-5924）

編集後記

5月になり新緑がまぶしい季節になりました。兵庫県でも田植えや夏野菜の準備が始まっており、忙しい反面、日に日に風景が変わり、作物の生長を実感できる楽しみな時期でもありますね。
暖かくなったとは言え、朝夕冷え込むこともありますので、体調管理には十分お気をつけ下さい。

2016.05